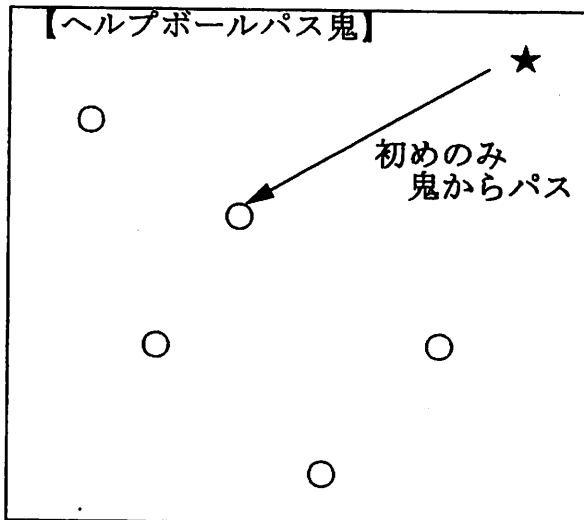


# 基礎ゲームⅠ ヘルプボールパス鬼



## (ルール)

- ・鬼がコーナーからパスを出した時に、ゲームがスタートする。
- ・鬼は、ボールを持っている人にタッチできない。
- ・○同志の味方が、パスをし合って、味方が鬼にタッチされないようにする。
- ・ボール保持者は、動いてはいけない。
- ・ドリブルはしない。
- ・鬼にタッチされたら交代。
- ・再スタートはコーナーから。
- ・1ゲームは2分程度。
- ☆○を2～3人で始める。鬼は歩く。

- ◎鬼に、タッチされないようにする子がめあてであるため、ボール保持者は、鬼にねらわれている味方にパスを出すことでよいから、パスを出す対象がわかりやすい。
- ◎パスをもらう側の者が鬼から逃げられるように鬼と自分の位置関係を考え、次に、ボール保持者からパスをもらえる位置を選び走り込むという認識からの動きとなる。これは、一つの空間認識を育てる点で有効な基礎ゲームといえる。
- ◎このゲームの中で、相手が受けやすいパスの出し方、動きの中でキャッチングや投げることが要求され、ボディーコントロールの能力も高まる。
- ◎鬼の動きを、歩く→早歩き→走るという段階をつけて行っていくことが可能。
- ◎ボールの数も、2個以上で行うことも可能。